

## 福岡地所初のライフサイエンスラボ (仮称) 福岡馬出ライフサイエンスラボプロジェクトの概要について

福岡地所株式会社（本社：福岡市博多区、代表取締役社長：榎本一郎、以下「当社」）は、福岡市東区馬出にて推進中の当社初のライフサイエンス企業向けのラボである「(仮称) 福岡馬出ライフサイエンスラボプロジェクト」（以下、「本施設」）の概要についてお知らせいたします。本施設は、2024年7月1日に着工し、2025年12月末の竣工を目指します。

福岡には、日本でも有数の医学・薬学系高等教育機関があり、九州大学を中心に数多くの優秀なスタートアップを輩出してきました。また、福岡県の福岡バイオコミュニティ（2021年に国の地域バイオコミュニティ第1号に認定）や福岡市の産学連携交流センターなどにおいて、ライフサイエンス産業の振興に取り組んできた土壌もあります。しかしながら、福岡都市部には、それらの企業が研究開発を行うためのライフサイエンス産業に特化したレンタルラボが少なく、ライフサイエンス企業の成長を妨げる要因のひとつとなっています。

本施設はそのような課題を解決すべく、当社が手掛ける都心近接型のライフサイエンスラボです。九州大学馬出病院キャンパス内に位置し、JR 鹿児島本線「吉塚」駅や福岡市地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」駅が徒歩圏内にあり、九州の交通のハブである博多駅や福岡空港及び都心へのアクセスに優れております。また、当社はこれまで、「Fukuoka Growth Next」においてスタートアップの育成・支援に取り組んでまいりましたが、本施設ではライフサイエンス領域のインキュベーション拠点を開設し、産官学連携を図りながら新たなオープンイノベーションの創出を目指します。



## ■本施設の特徴

### 1. ライフサイエンス企業向けのBSL2※1/P2※2レベルの実験が可能なラボ

本施設は、ベンチ単位で利用可能なシェアラボと、最小 54 m<sup>2</sup>から占有利用できるレンタルラボがあり、チームの規模に応じた最適な実験空間を提供します。

シェアラボでは、実験に必要な内装や設備、共通機器を提供することにより、入居者は初期投資不要かつ速やかに研究活動を開始できます。レンタルラボでは、研究内容に合わせたレイアウト及び機器設置が可能です。

また、入居者はイニシャル/ランニングコストが高価な実験機器を安価に利用できます。

#### ●レンタルラボ仕様

- ・バイオ系の本格的な研究を可能とする BSL2/P2 レベル対応
- ・設備バルコニー完備
- ・局所排気装置設置可能
- ・各フロアにシャワー室、製氷機、給排水設備を設置
- ・3層のセキュリティ（建物エントランス→エレベーターホール→区画出入口）
- ・単相 100V/200V：200VA/m<sup>2</sup>、三相 200V：100VA/m<sup>2</sup>
- ・耐荷重 500kg/m<sup>2</sup>
- ・天井高 2700mm、OA フロア 300mm（基準区画）

#### ●レンタルラボ平面図



4階平面図

## 2. インキュベーション施設

本施設は、革新的な先端モダリティ※3の研究を推進し、創業初期の資金調達機会創出から臨床開発までのエコシステムを構築することで、グローバルで戦える創薬プレイヤーの輩出を目指しています。エコシステム内の各プレイヤー間のオープンイノベーションを誘発するインキュベーション施設（シェアラボ、コワーキングオフィス、シェアオフィス、会議室、イベントスペース等）を備え、シード期からの手厚いサポートを提供します。

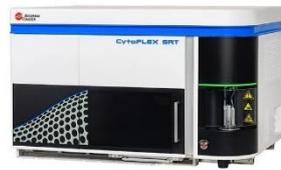
- スタートアップへの支援機能（例）
  - ・ 実験機器のシェア（シェアラボ、共通機器室）
  - ・ ビジネスマッチング
  - ・ 資金調達のサポート
  - ・ エキスパートへの相談窓口
- 施設イメージ写真



● 共通機器例（写真は一例）



アナライザー



セルソーター



蛍光顕微鏡



リアルタイム PCR

※1 BSL(biosafety level) とは、細菌・ウイルスなどの微生物・病原体等を取り扱う実験室・施設の格付け。世界保健機構（WHO）が制定した実験室バイオセーフティ指針に基づき、各国により微生物・病原体等の危険度に応じて4段階のリスクグループに分類されている。BSL2は、病原性を有するが、重大な災害となる可能性の低い病原体。

※2 遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（カルタヘナ法）に基づく遺伝子組換え実験等について、「研究開発等に係る遺伝子組換え生物等の第二種使用等に当たって執るべき拡散防止措置等を定める省令」に定める拡散防止措置の区分。

※3 先端モダリティとは、医薬品モダリティのうち、2000年代以降に開発された比較的新規の再生医療・遺伝子治療・中分子医薬（拡散医薬・ペプチド医薬）の総称。

■ 施設概要

施設名称	（仮称）福岡馬出ライフサイエンスラボプロジェクト
所在地	福岡市東区馬出3丁目1番1号（九州大学病院キャンパス内）
アクセス	福岡市地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」駅7番出口 徒歩5分
建築面積	1,706.34 m <sup>2</sup>
延床面積	9,665.04 m <sup>2</sup>
階数	地上6階
用途	研究所、事務所
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
着工	2024年7月1日
竣工	2025年12月末（予定）
事業主	福岡地所株式会社
設計・監理	株式会社内藤建築事務所
施工	松尾建設株式会社
デザイン監修	プラス株式会社

## ■ アクセスマップ



JR	鹿児島本線 「博多」駅	2分	鹿児島本線 「吉塚」駅	徒歩 15分
地下鉄	空港線 「天神」駅	6分	箱崎線 「馬出九大病院前」駅 7番出口	徒歩 5分
地下鉄	空港線 「福岡空港」駅	9分	(乗換) 空港線 「中洲川端」駅	5分
西鉄バス	「博多駅センタービル前E」 バス停	17分	「九大病院」 バス停	徒歩 1分
西鉄バス	「天神大和証券前」 バス停	18分		
車	福岡空港	約15分		

P 駐車場 IN 車両入口 OUT 車両出口 T 郵便ポスト バス バス停

※掲載の所要時間は日中平常時のもので時間帯により異なります。乗換・待ち時間は含みません。  
 ※掲載の情報は、2024年8月時点のものです。

## ■ 施設 HP

今後、イベント情報や入居者インタビュー、ニュースリリースなどの様々なコンテンツを掲載します。

<https://fj-lifescience.jp/>